



# わ! しながわ

第19回

地域の方を紹介するコーナー。次の方を紹介して頂き『地域の輪』をつなげていきます。

土屋光彦さん



今回は、大井倉田児童遊園(コアラ公園)の隣にある三洋工業株式会社代表取締役の土屋光彦さんをご紹介します。

三洋工業株式会社は、主に道路工事を行う土木施工会社で、創業は東京オリンピック間近の1964年8月、先代である父親良雄さんが54歳の時でした。創業間もない頃、東京駅新幹線ホームの舗装を任されたことが会社の礎いしずえになっていると、土屋さんはおっしゃいます。

その後、官公庁工事を手掛けるようになり、現在では8割方が品川区の仕事だそうです。その間、顧客・友人・知人・金融機関・社員に恵まれたお陰で、幾多の危機を乗り越えてこられたとのこと。2018年、縁があつて西光寺さんの家屋を借りられることになり、辻村工務店さんに改装工事を依頼し、創業地の南大井から現在の地に移転しました。そして、42年間務めた代表取締役を今年の10月、三代目の息子さんに引き継ぐそうです。『\*売り家と唐様で書く三代目(今はそんな粋な趣味はないようですが)』とならぬよう、これからも品川区内のインフラ整備のお役に立てることを願っております」と次世代へのエールを下されました。

お父さんの影響で自然と土木の道に進まれたそうですが、土木は同じものはないところが面白いとおっしゃいます。また、部屋には仏像の写真や書が飾られており、何と学生の頃に神社仏閣、特に仏像に魅せられ、今でも全国各地の仏像めぐりをしているそうです。

土屋さんはとてもお元気で、多くの人たちと作り上げてきた自信や強さと粋な配慮や温かさを併せ持った方だと感じました。また、何気なく歩いている道は「整備してくれる方がいるから歩きやすいんだ」と改めて思いました。

さて今回は、池上通り沿いの濱崎眼科医院の院長先生はまざきすすむ「濱崎陸さん」です。社屋改装も手掛けた前回の辻村さん、今回の土屋さん、そしてバトンを渡す濱崎さんとは伊藤中学校の同級生だそうです。お楽しみに！

\*『売り家からようと唐様で書く三代目』：初代が苦心して財産を残しても、3代目にもなると没落してついに家を売りに出すようになるが、その売り家札の字は唐様で書かれている。遊芸にふけて、商いの道をないがしろにする人を皮肉ったもの。



山中小4年 トチンボさん 「まぼろしのライオンの夜」



有翼ゆうよくの雌めすライオンの神々こうごうしさを、夜空と星で素敵な雰囲気ふんいきに演出しゅつじゆくできていますね！ライオンの表情も知的で素晴らしいです。木の幹などの塗り方もいいですね。木の形が少し惜しい印象なので、本物の木をよく観察してみよう！

【五十嵐】

イラスト

もうすぐ運動会

親弟 姉 親弟 姉 親

…今度の運動会では何に出るの？

…徒競走。

…リレー。

…走る時、アキレス腱が切れないように気をつけ

てね。

…なまなまだよ。

…走れば走るほど切れるものはなくに？

…アキレス腱！

…エッ……

\*\*\*\*\*

なまなまの答えは「息」ですね…

(高木)

## 知っておき隊!



## ゲリラ豪雨のこと

<ゲリラ豪雨の特徴>

- ・真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる
- ・冷たい風が吹き出す
- ・雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする
- ・大粒の雨や「ひょう」が降り出す

梅雨から台風シーズンに多く発生するゲリラ豪雨。みなさんご承知のとおり、積乱雲が原因です。空に怪しげな積乱雲を見たら私たちはどのような行動すればいいのかを、「しながわ防災ハンドブック」を参考にまとめてみました。

【高木】

① 情報に注意する  
気象庁が出す「防災気象情報」や区が出す「避難に関する情報」に注意して、つねに最新の情報を入手・確認します。

② 事前に備えておく  
気象情報などに注意しながら、状況が悪化する前に、早めに準備します。

情報の種類	発表のタイミング	災害の種類
特別警報	重大な災害が起こるおそれ著しく高まっているとき	大雨(土砂災害、浸水害)、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮
警報	重大な災害が起こるおそれのあるとき	大雨(土砂災害、浸水害)、洪水、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮
注意報	災害がおこるおそれがあるとき	大雨、洪水、強風、高潮、雷など16種類

その他危険を知らせる情報	土砂災害警戒情報	記録的短時間大雨情報
	大雨警報(土砂災害)が発表されているときに、土砂災害の危険性が高まった場合	大雨警報が発表されているときに、土砂災害や洪水の発生につながるような、まれにしか観測しない雨量であることを知らせる場合

③ 早めに避難する  
災害が発生する危険性が高まった場合、または危険を感じた場合は自らの命は自ら守るという意識をもって避難しましょう。

- 危険と感じたら自らの判断で避難する。
- 暴風時や夜間などで避難できなくなる前に、早めに避難する。
- 想定を上回る事象が発生することも考慮し、より安全な場所へ避難する。

ベランダや庭などにある植木鉢や物干し台などを屋内へ入れる

自転車やバイクはカバーをはずし屋内へ入れる



雨戸などを閉め、窓ガラスを守る。カーテンを閉め、ガラスの飛散を防ぐ。

排水溝や雨どいにある落ち葉などを取り除き、できるだけ水はけをよくする。



その他、防災に関して詳細な情報は、区役所や地域センターで配布している【しながわ防災ハンドブック】を入手してお読みください。